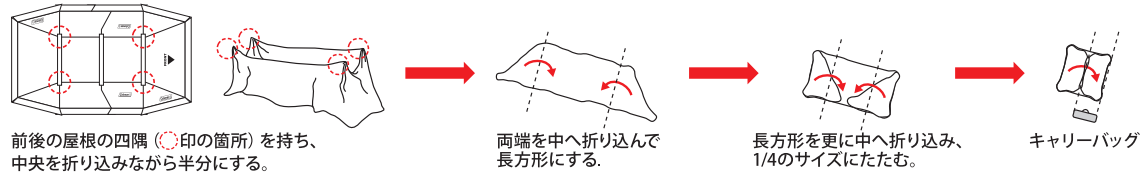


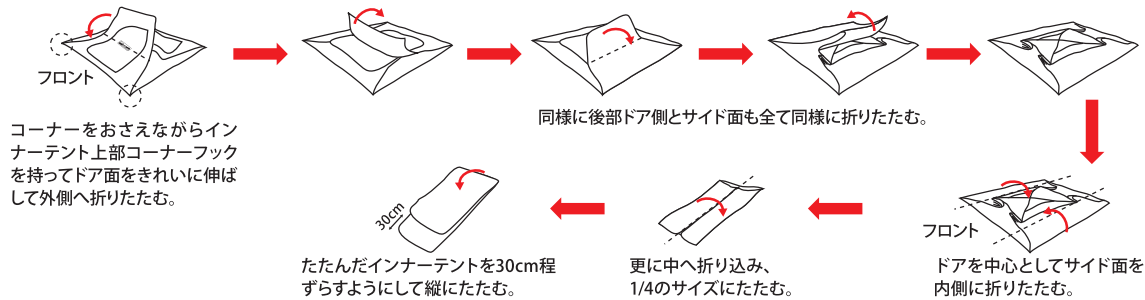
1 ルーフタープ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。
フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。



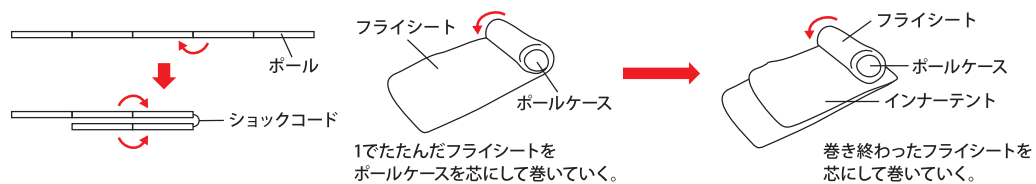
注意

テント・タープを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

2 インナーテントから、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を延ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

TOUGH SPEED DOME

[タフスピードドーム]

取扱い・組立て説明書



ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ

コールマンカスタマーサービス: 0120-111-957

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項



危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント、タープ内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指を挟まないように注意してください。また、周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント、タープ内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

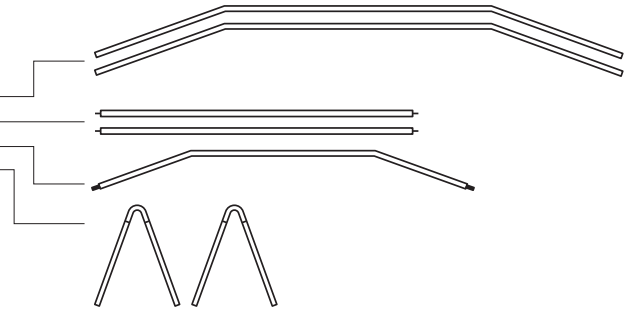
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態では収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- フライシート×1
- インナーテント×1
- ルーフフライ×1
- サポートポール(シルバー)×2
- リッジポール(シルバー)×2
- センターポール(シルバー/両端ブラック)×1
- Aフレーム×2
- 自在ロープ×6本
- スチールペグ×10本
- プラスチックペグ×8本
- ハンマー×1



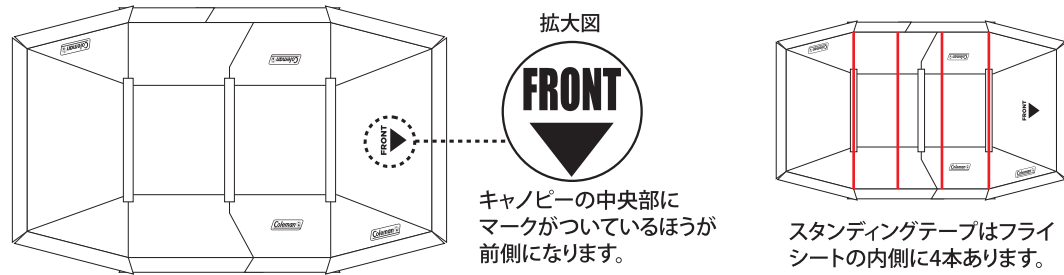
完成図



設営手順

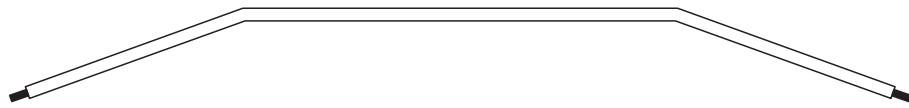
I フライシートを広げる

- 1 フライシートを広げます。
前後左右のフライシートのファスナーをすべて閉めます。
スタンディングテープのフックがすべてとまっているか確認します。



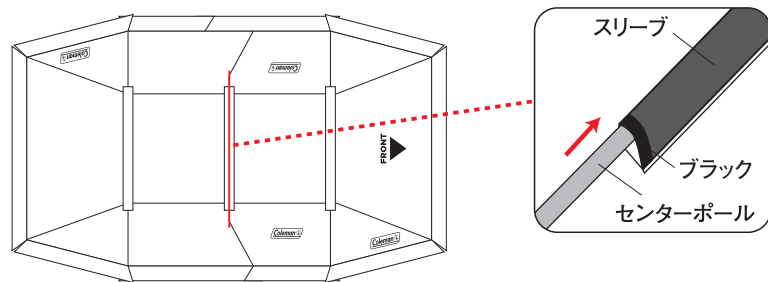
II センターポールをセットする

- 2 センターポール(シルバー/両端ブラック)を伸ばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

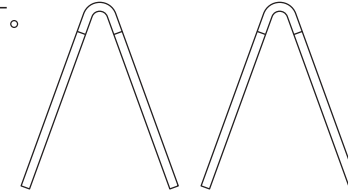
- 3 センターポール(シルバー/両端ブラック)を中央のスリーブ(スリーブの端ブラック)に通します。



注意 スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

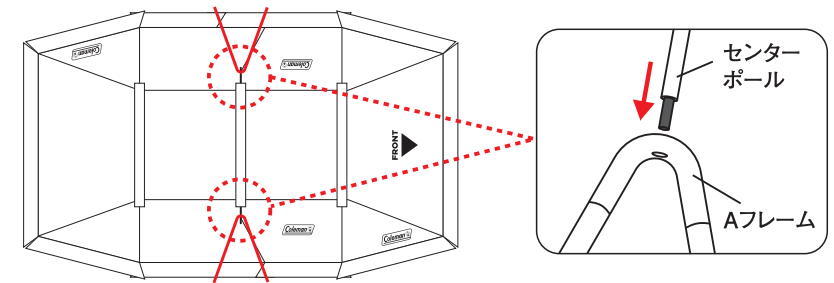
III Aフレームをセットする

- 4 Aフレーム2本を伸ばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

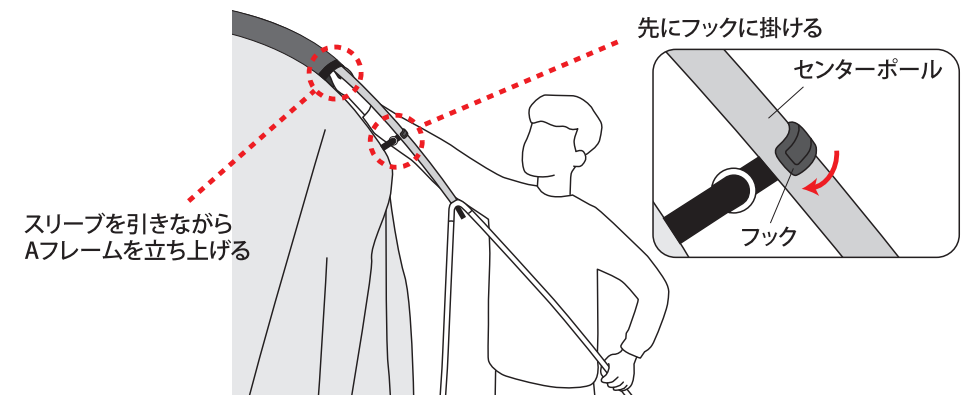
- 5 Aフレームの中央の穴にセンターポール(シルバー/両端ブラック)を差し込みます。もう1本のAフレームも逆側のセンターポール先端に差し込みます。



注意 二人以上で設営してください。一方のAフレームにセンターポール先端を差し込んだ後、逆側のAフレームに差し込む際は両側のAフレームを立てた状態で差し込んでください。Aフレームを寝かせた状態(地面に置いた状態)で差し込むとセンターポールに過度な力が加わり破損、曲がりの原因となります。

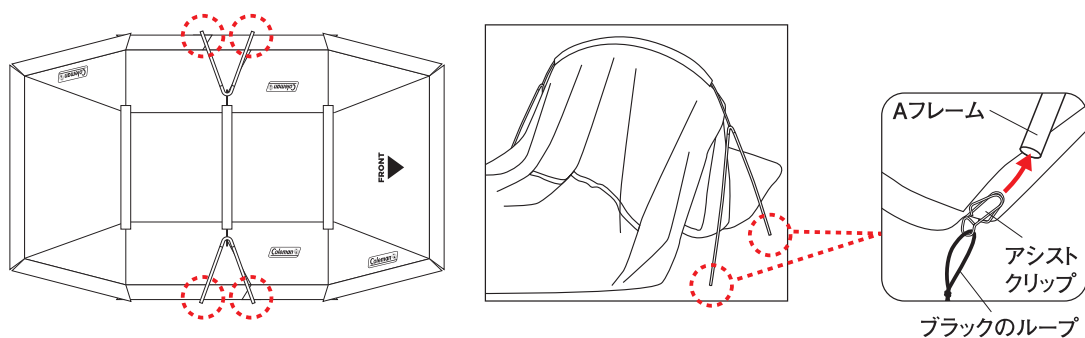
IV Aフレームとセンターポールを立ち上げる

- 6 Aフレームにセンターポールを差し込んだ後、フックをセンターポールに掛けます。立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でAフレームを立ち上げる。スリーブを持たずに押し込むとポールが折れたり生地が破れたりします。



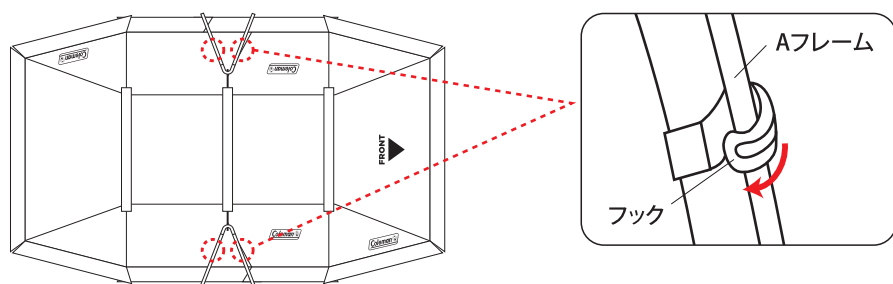
注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

7 Aフレームとセンターポールを立ち上げ、Aフレーム先端に本体のアシストクリップ(ブラックのループ付き)を差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

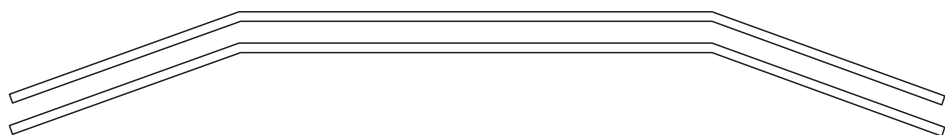
8 Aフレームとセンターポールにフックをかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

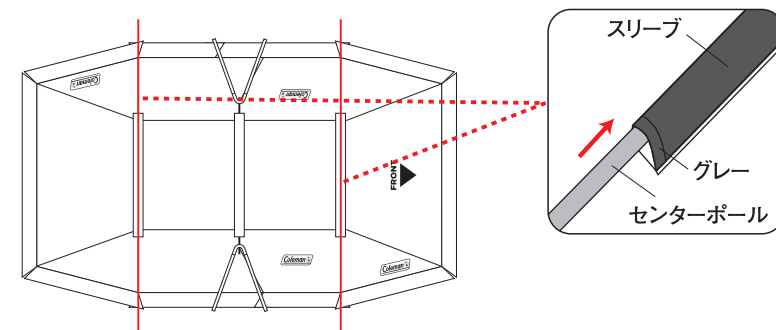
V サポートポールをセットする

9 サポートポール(シルバー)2本を伸ばします。



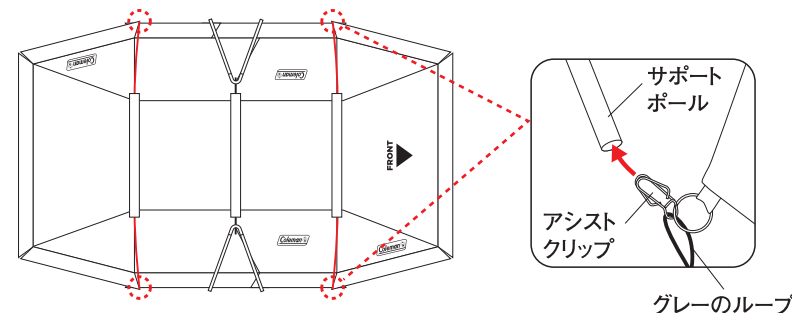
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

10 サポートポール(シルバー)2本を前後のスリーブ(スリーブの端グレー)に通します。



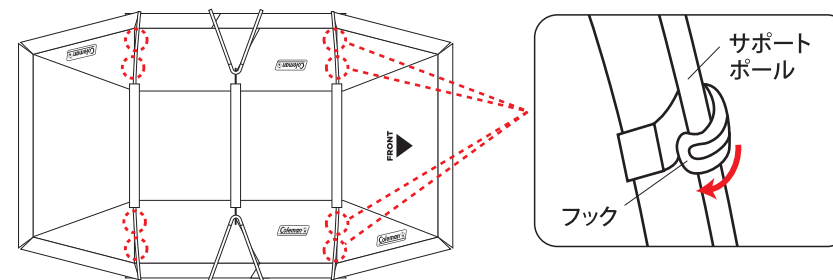
注意 スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

11 サポートポール(シルバー)2本に本体のアシストクリップ(グレーのループ付き)を差し込みます。



注意 ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

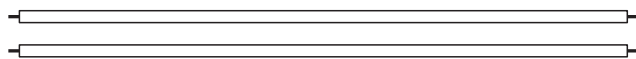
12 サポートポール(シルバー)2本にフックをかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

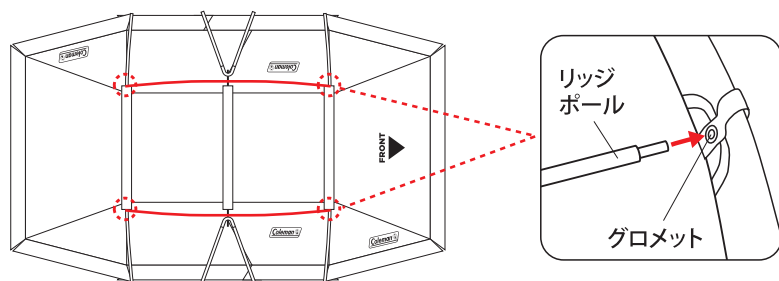
VI リッジポールをセットする

13 リッジポール(シルバー)2本を伸ばします。

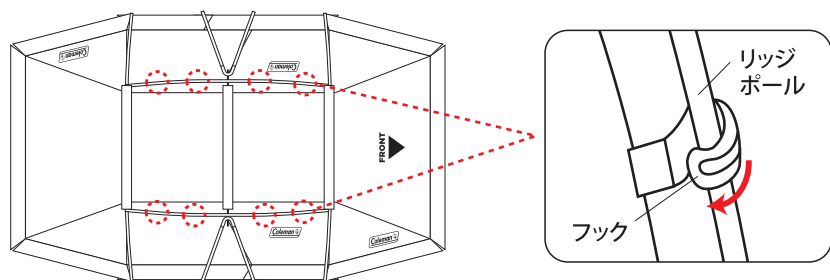


注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

14 リッジポール(シルバー)2本を本体前後のグロメットに差し込みます。



15 リッジポール(シルバー)2本にフックをかけ固定します。



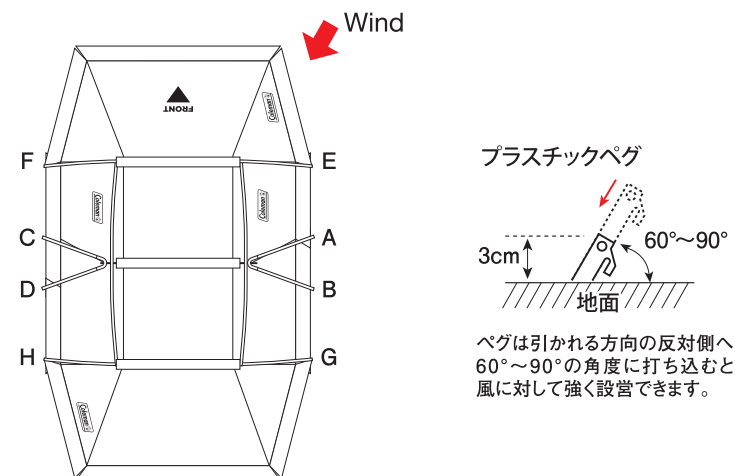
注意 フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

VII 設置位置を決めペグで固定する

16 前後左右のフライシートのファスナーをすべて閉めます。

注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

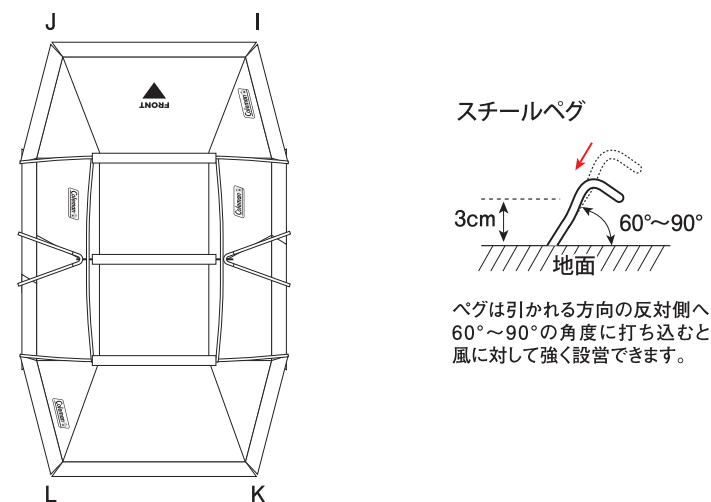
17 設置位置を決め、図のようにフレームのある8カ所のループを風上より順に(A~H)プラスチックペグを打ち込みテントを固定します。



プラスチックペグ
3cm
60°~90°
地面

ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

18 続いて前後4ヶ所のループにI~Lの順にスチールペグを打ち込みます。

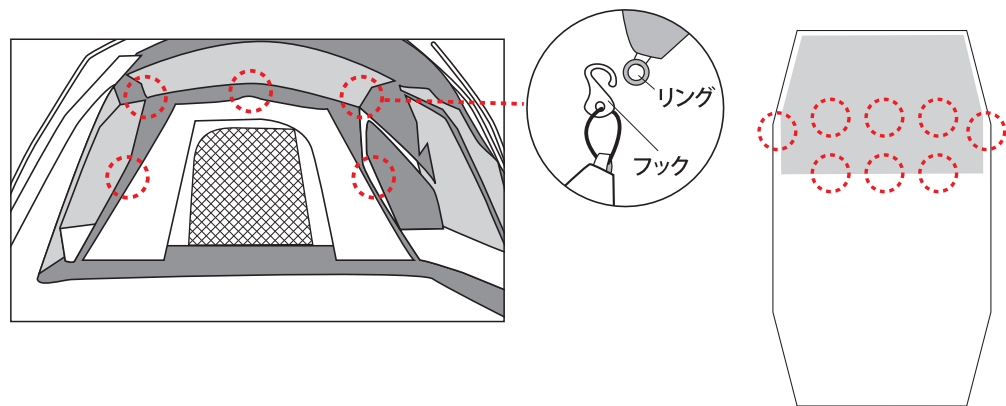


スチールペグ
3cm
60°~90°
地面

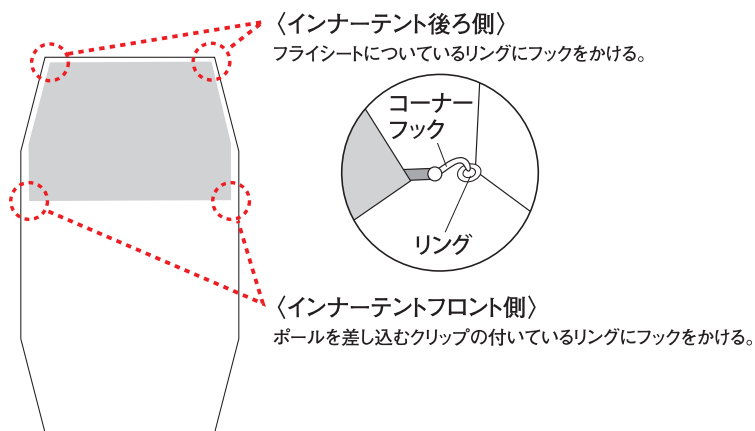
ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

VIII インナーテントをセットする

- 19 インナーテントを吊り下げます。
フライシート内側にあるリングにインナーテントのフック8ヶ所をかけます。

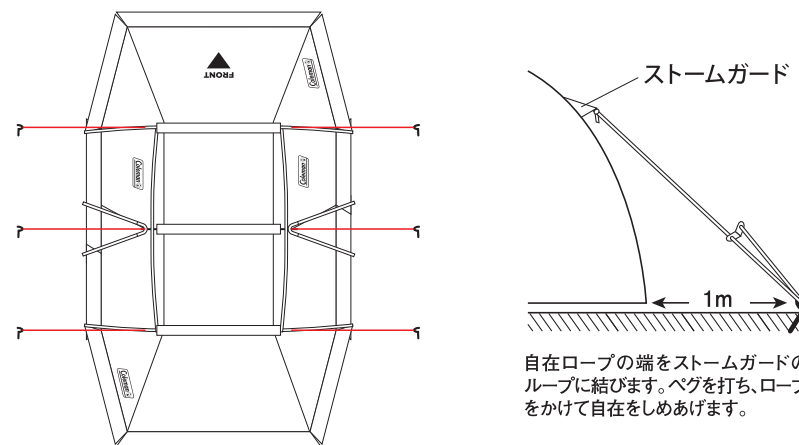


- 20 インナーテントフロアのコーナーにあるフックをリングにかけます。



IX ロープを張り固定する

- 21 ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。前後のループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



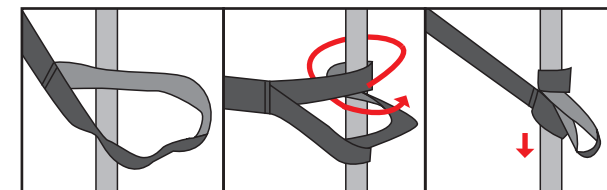
上・右図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

注意 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

ストームガード

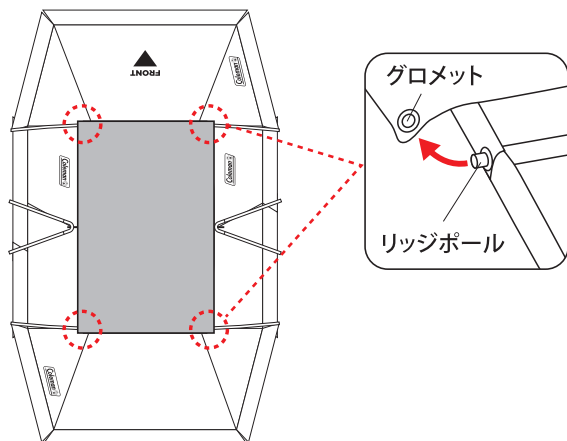
本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。

シングルフレームの場合

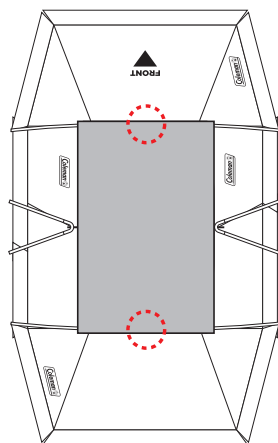


X ルーフフライをかぶせる場合

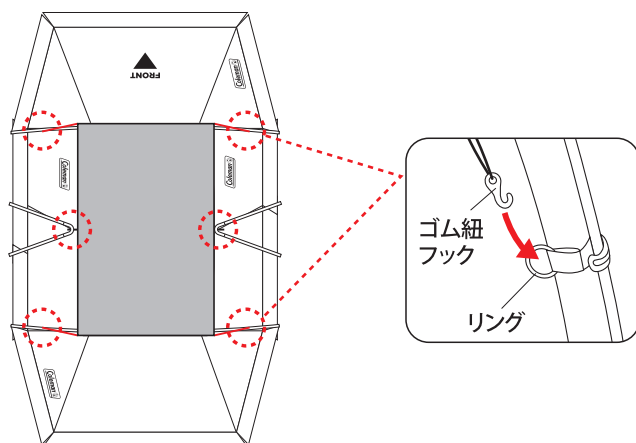
22 ルーフフライをかぶせ、四隅のグロメットをリッジポール先端にかけます。



23 前後中央にある面ファスナー2ヶ所を固定します。

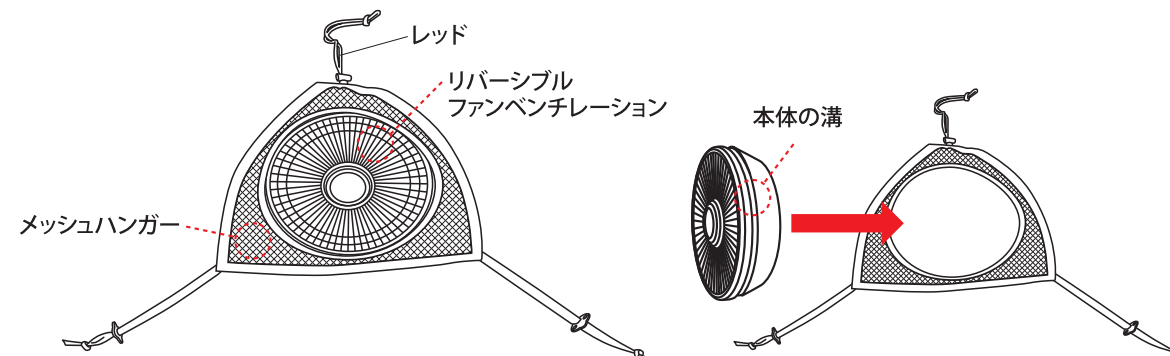


24 ルーフフライ6ヶ所についているゴム紐フックを、ポールを固定したフックがついているループのリングにかけます。



XI アウトドアマルチライトファン(別売)の装着方法

25 メッシュハンガー(別売)をアウトドアマルチライトファン本体の溝に固定します。(メッシュハンガーは、どちらの面でも取り付けられます。)



26 インナーテントの中にある上のループに、メッシュハンガーの赤いひものプラスチックパーツを通します。同様に、下のループにメッシュハンガーのグレーのひものプラスチックパーツを通します。

